

平成29年度宇都宮市立雀宮中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

1 心豊かで、思いやりのある生徒の育成（情操）	
2 主体的に学び、考え深い生徒の育成（創造）	
3 からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康）	校是 「純情と進取」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

めざす生徒像	めざす教師像	めざす学校像
思いやりのある生徒	愛情と情熱にあふれる教師	学びあえる学校
主体的に学ぶ生徒	みがきあう教師	共に伸びる学校
心身を鍛える生徒	実践力のある教師	地域と共に歩む学校

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

1 生徒が夢や希望を持って、主体的にいきいきと学べる学校づくりに努める。
2 教育活動のねらいを明確にしてわかる授業，できる授業の実践と一人ひとりの良さを生かす活動の充実に努める。
3 豊かな心，たくましい体の育成を目指して， <u>基本的な生活習慣</u> ，思いやりの心， <u>体力の向上</u> に努める。
4 ○家庭や地域社会との連携に努め，信頼される学校，開かれた学校， <u>地域学校園内の連携の実現</u> に努める。
5 教育公務員としての使命を自覚し，和と協働の精神を大切に， <u>専門職としての資質向上</u> に努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】	
1 プラス思考で動く教職員	
ア 学年・学校組織を生かした臨機応変な職員協力体制の確立	イ 専門職としての自己研修の推進
ウ 行動規範の意識化と遵守	エ プラスワンの発想での建設的な提案と実践
○オ 小中一貫教育の推進による地域学校園内小・中学校連携強化	
2 家庭・地域とともに歩む学校	
ア 情報の積極的な発信と連携	イ 地域の多様な教育力の活用の推進
ウ 魅力ある学校づくり地域協議会の活動推進	○エ <u>地域学校園内の小学校との連携や地域行事やボランティア活動への参加啓発</u>
【 学 習 指 導 】	
1 夢や希望を語れる生徒の育成	
ア 自己を見つめ，自己の生き方の確立をめざしたキャリア教育・進路指導の充実	
イ 一人一人の良さが発揮できる特別活動の実践	ウ 自己の能力を最大限に発揮できる特別支援教育の推進
2 確かな学力の育成	
ア 生徒の側に立った指導の構想と基礎・基本の定着	イ 言語活動の充実による伝え合う力の育成
ウ チームティーチング，少人数指導の充実	エ <u>家庭学習の充実と習慣化</u>
【道徳教育（児童生徒指導）】	
1 豊かな心の育成	
ア 道徳教育に関する指導力向上をめざした研修の実施	イ 豊かな心をはぐくむ読書活動の充実
ウ SC，MSとの連携を密にした教育相談の充実	エ 人権感覚を育てる啓発活動の充実
オ 人権感覚を練磨する校内研修の推進	カ 生徒の情操を育てる校内環境の充実
2 規範意識の育成	
ア <u>基本的な生活習慣を身につけさせる指導の充実</u>	イ <u>いじめ，不登校への予防的対応の充実</u>
ウ 生徒の良さを認め，尊重し自尊感情を高める指導の実践	
【健康（保健安全・食育）・体力】	
1 たくましい体の育成	
ア <u>自ら意欲的に運動に取組み，体力向上を図る指導の充実</u>	イ 発達段階に応じた保健教育・性教育の充実
ウ 食に関する指導の充実と望ましい食習慣の育成	エ インフルエンザ予防と健康管理能力の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」 ⇒生徒、保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 豊かな心をはぐくむための読書活動の実施（朝の読書、学校図書館の効果的な環境づくり等）</p> <p>② 生徒の主体的活動の推進（生徒会活動、部活動、学校行事）</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.1%、保護者に肯定的回答 95.0%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 落ち着いた雰囲気の中、読書活動もきちんと行われ、豊かな心も育っていると思われる。また、体育祭、文化祭等、生徒の主体性が大きいに発揮され、この雰囲気を次年度へ繋げていけるよう、活動の場を意図的に設定していきたい。</p>
	<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は組織の一員として熱心に教育にあたっている」 ⇒生徒、保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 生徒の良さを認め、尊重し、自尊感情を高める指導の実践</p> <p>② 一人一授業の実施による指導力の向上</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 96%保護者の肯定 91.4%で目標を上回った。 教員・地域は 100%。</p> <p>【次年度の方針】 今年度同様、「生徒一人一人と誠実に真剣に向き合う」そのスタンスを忘れずに徹底・継続する。</p>
	<p>A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒生徒、保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 1学級担当 2人制による給食指導の実施</p> <p>② 行動規範の意識化と遵守</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 92.6%保護者の肯定 95.4%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 今の自分たちに誇りを持たせる指導。（賞賛・感謝からの自尊心の向上） 自主性から主体性へのステップアップ。 生徒からの発信。（リーダー的存在生徒だけでなく多くの生徒から発信させる場の工夫）</p>
	<p>A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒生徒・保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 豊かな表現力を支える基礎基本の確実な定着（漢字・計算・英単語力の向上）</p> <p>② T Tや習熟度別学習による個に応じた指導の充実</p>	A	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.9%で数値目標を上回った。保護者の肯定的回答は、79.2%でほぼ数値目標であり、昨年度より上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 より組織的に学力向上を図っていくため、職員研修や教科部会を通して、本校の学力の実態を共有し、到達目標を明らかにした上で、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。また、一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、チームティーチングや習熟度別学習のより効果的な運用に努める。</p>

<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」 ⇒生徒・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① いじめ、問題行動の未然防止と早期発見・早期対応</p> <p>② 「人権感覚を育てる啓発活動」の充実</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 96.9%と目標を上回った。保護者の回答は 75.5%と昨年度より 7%向上したが目標には届いていない。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 年度当初から生徒指導日より等及び保護者会で保護者に向けて発信していく。いじめ対策に対しての積極的な情報発信に取り組む。</p>
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは適切に実施されている」 ⇒教職員、保護者の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 教育課程表にもとづく授業時数の確保</p>	<p>【達成状況】 教職員・保護者の肯定的回答が 97%を超え、目標を上回り、教育課程は適切に実施されていると考えられる。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 各教科の授業をバランスよく実施していけるように、3期の累計時数だけでなく、定期テスト毎の期間で授業時数を確保できているか確認作業を実施していく。</p>
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信、提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 情報の積極的な発信と連携</p> <p>② 学校だより、学年・学級だより等の定期的な発行による本校の教育活動の啓発</p> <p>③ 土曜授業や学校公開の実施</p> <p>④ 学校ホームページの充実</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 94%、地域住民の肯定的回答 100.0%と目標を上回った。 また、教職員の肯定的回答が、前年比 8.6%向上した。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 今年度は「学校ホームページ」のアップデートが迅速に行われ、リアルタイムの情報発信ができた。次年度も、さらに情報量の増加と、内容の質的向上を目指したい。</p>
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① P T Aによる下校指導の実施</p> <p>② 魅力ある学校づくり地域協議会の活動推進</p> <p>② 中学生による地域活動への参加推進</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 95%、地域住民の肯定的回答 100%と、目標を上回った。また、教職員の肯定的回答は前年比 2.3%低下したが、97.7%と高い水準である。</p> <p>A</p> <p>【次年度の方針】 今年度は、中学生による地域活動が定着し、読み聞かせや職業人講話、中庭整備作業などで地域の方の協力を得る機会も充実してきた。次年度は、その成果を発信し、さらなる充実・発展に努めていきたい。</p>
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 美化週間や委員会活動の充実</p> <p>② P T A環境部との連携を図った環境美化活動の推進</p> <p>③ 施設・設備の点検と迅速な補修</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 96.7%で数値目標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 迅速な点検・整備を心掛けるとともに、生徒・P T A・地域ボランティア連携による校舎内外の環境美化をさらに推進していく。</p>

	<p>A10 学校は「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は小学校・中学校が連携した取組を主体的に行っている。」 ⇒保護者・職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>「一人ひとりが自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」</p> <p>① 効果的な相互乗り入れ授業の実施</p> <p>② 各部会での共通課題の実践</p>	<p>達成状況】 職員の肯定的回答 93.2%、保護者の肯定的回答 90.9%で、数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 小学校の先生方には、できるだけ多くの教科の授業を観察して頂く。小学校の先生方にT2として授業に参画して頂く。中学校の教員が、乗り入れ授業を行う際は、専門知識を取り入れた授業を実施する。</p>
教育活動の状況	<p>A11 生徒は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒各対象者の肯定的回答85%以上</p>	<p>① ○あいさつ運動の実施と強化期間の設定</p> <p>② ○地区内小学校と連携した朝の登校指導の実施（あいさつ、声かけ）</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 98.0%保護者の肯定的回答 94.5%、職員の肯定的回答 95.5%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 今後も生徒の主体的活動の一層の推進を図りたい。また地域との活動をより積極的に行っていく。</p>
	<p>A12 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 時と場に応じた言葉づかいができるよう、日頃から授業や行事等の場面を生かした指導の充実</p>	<p>【達成状況】 地域住民の肯定的回答 100%保護者の肯定的回答 91%と目標数値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 時と場に応じた言葉遣いが定着するよう、その目的を理解させながら、日頃のその場その場の指導を徹底、継続していく。</p>
健康・体力	<p>A13 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 昼休みの外遊びや運動部活動における積極的な取組の推進</p> <p>③ 宇都宮元気っ子プロジェクトの推進</p>	<p>【達成状況】 職員 88.6%、生徒 79.4%の肯定的回答 生徒は昨年度に比べると数値的には減っているが、体育館開放や昼休みの運動など積極的に運動している。市内の他校と比べると、運動していると思われる。</p> <p>【次年度の方針】 運動が苦手な生徒も運動できるような活動を取り入れる。校舎外に注目するような工夫して、運動が苦手な生徒を外で活動できるようにする。</p>
	<p>A14 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、自分は好き嫌いなく給食を食べている」「自分の子供は、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒生徒・教職員・保護者の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>① ○給食だより、お弁当の日や保護者会による保護者への啓発</p> <p>② ○栄養士、養護教諭が参画する食の指導の充実</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 80.1%、保護者の肯定的回答 75.3%、職員の肯定的回答 59.1%で数値目標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 生徒の食への意識を高めるために、栄養教諭、養護教諭が参画する食の指導を継続する。</p>

	<p>B 1 生徒は食後の歯みがきをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、給食後の歯みがきを必ずしている」 ⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 給食後の歯みがきタイムの充実</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 昨年度と比べると生徒の肯定的回答 96.1%で数値目標を大きく上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 日課表に歯みがきタイムを位置づけし準備においても意識づけする。歯肉炎の生徒が多いので積極的にブラッシング指導をする。</p>
	<p>A 15 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」「生徒は、進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>① 生徒の側に立った授業の構想と展開（ねらいの明確化、授業展開の工夫、授業改善につながる評価）</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.6% 教職員の肯定的回答 90.9%で、ともに数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 より組織的に学力向上を図っていくため、教科部会を通して、本校の学力の実態を共有し、到達目標を設定し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。また、授業研究会等で一人一人の生徒の学ぶ意欲を喚起できる方策を探求し実践する。</p>
学	<p>A 16 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員・生徒・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 授業中での取り組み方のきまりや課題の与え方の工夫・改善を図ることによる、落ち着いた授業の実践</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.7%、保護者の肯定的回答 90.1%、生徒の肯定的回答は 85.7%でともに数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 チャイムと共に授業開始・終わりのあいさつ、話を聞く姿勢、学習用具の確実な準備など基本的な学習態度について継続して指導していく。</p>
習	<p>B 2 家庭学習の習慣化をめざす。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「毎日家庭学習に取り組んでいる」 ⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 基礎学力向上を目指した、家庭学習の習慣化</p> <p>② ○家庭学習ノートの活用と確認</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 95.7%で、数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 家庭学習ノートの提出率については一定の成果を収められている。内容充実をめざした今年度の取組を継続し、さらに能力に応じた目標設定と実施計画の立て方などについて個別の支援を充実させる。</p>
本校の特色・課題等	<p>B 3 学校行事を通して、感動できる集団・学校づくりをめざす。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「雀中そーらんや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」 ⇒生徒の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 全校生徒による雀中そーらんや合唱コンクールへの取り組み</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 98.9%で、数値目標を達成しており適切に実施されていると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 生徒が主体的に熱中できる行事であり、その完成度においても誇れる伝統行事として定着している。さらに地域の期待に応えるため、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識の向上を目指したい。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・全体を見ると、19項目の内、15項目が目標指標を上回った。
 - ・地域住民の皆様には昨年度同様、すべての項目で高い肯定的評価をいただいた。生徒や職員の励みとなり次年度へ繋げていきたい。
 - ・No4「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」では保護者の肯定的回答が目標指標を下回った。学習に関して、教員の「指導力の向上」に向けた取組を全職員で行っている。講師を招いての授業研究時にはPTAの皆さんに教室巡回を依頼し全職員が研究授業参観できる体制に協力いただいた。こういった実践を今後も粘り強く継続していきたい。
 - ・No5「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」においては保護者の肯定的回答が目標指標を下回った。いじめの取組はホームページに掲載してあるが、タイムリーな取組みや情報も発信していきたい。
- No14「生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている」保護者、職員の肯定的回答が目標指標を下回った。食育に関しては、学校園でも小中の連携を図っているところです。学校園ではお弁当の日を設けたり、食に関する資料や食育便り等を食育ファイルにとじ、食事の大切さを指導しています。今後もより身近な情報を提供し、家庭との連携を図っていきたい。

6 学校関係者評価

- ・地域のほとんどの活動に中学生がボランティアとして参加し、大人に混じって活躍している。大変うれしく思うし、感謝したい。今後もぜひ、継続してもらいたい。
- ・地域、自治会の公園清掃などは、毎回参加者が少なくなり、思うような活動ができない状況であるが、ボランティア精神を受け継いだ生徒が成長して、地域に貢献する姿を楽しみにしている。
- ・地域学校園の小学生は、多くのボランティア活動の中で中学生のひたむきな活動に接するたびにあこがれを抱いている。今後も小学生の模範となるようお願いしたい。
- ・食育関係で、食べ物の好き嫌いはなかなか克服できない。給食のメニューも工夫されているので、好き嫌いを少しでもなくせるよう小中の連携と家庭の協力が不可欠である。今後もあきらめず、地道な努力をしていってほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・本校の柱の一つであるボランティア活動も、回を重ねるごとに地域への貢献度も高くなっています。この背景には、地域の皆様が中学生（小学生）を気にかけていただき、地域で育てるという高い意識があるからだと思います。また、中学生は地域の中で多くの活動を体験して、主体性や根気強さを学びながら、達成感を味わうことができました。
 - ・地域に貢献できるとともに、あいさつや行動が小学生の模範となるよう、今後も積極的に活動していきたいと思います。
- 食育については「地域学校園体力・食育推進部会」の食育分科会が中心となり、学校園共通で「お弁当の日」を設定したり、食育便りや食に関した資料等で栄養指導を行っています。学校園でさらなるアイデアを加え、保護者への情報提供をし、連携を図りながら、地道に取り組んでいきたいと思います。